

# デジタル地域ポイント事業 基本方針

令和7年7月

## 1 はじめに

現在、少子高齢化など本格化する人口減少社会の下で、地域での人と人のつながりの希薄化やコミュニティ活動の低下が課題の一つとなっています。

高砂市では、こうした課題に対して、令和4年度から令和6年度にかけて、内閣府「未来技術社会実装事業」に採択された「たかさご未来資産を貯めようプロジェクト」において、市民の行動変容を促し Well-being の向上を目指すきっかけづくりについて、実証事業を通してデジタル技術の展開とその効果について検証してきました。

このような中において、市民一人ひとりの行動がまちの未来を形づくる、その後押しという観点から、人や地域の Well-being につながる活動への参加を促進する「デジタル地域ポイント」を導入します。デジタル地域ポイントを通じて、人と人がつながる仕組みを構築し、市民と行政、企業、団体が連携して、地域の魅力を共に創り、つながり支えあう活力あるまちづくりを目指します。

## 2 基本理念

デジタル地域ポイントは、以下の理念のもとに運用します。

- ・人と人のつながりをつくる
- ・つながり、支えあう社会をつくる

## 3 位置づけと背景

第5次高砂市総合計画が掲げる「地域の魅力を共に創る、活力あるまち」の実現に向け位置づけるものとします。

令和7年度にデジタル地域ポイント事業の制度設計、デジタルサービスの構築、令和8年度からは市民の活動を中心に本格的な制度運用を開始し、令和9年度以降には、段階的に各種団体の活動にも対象を広げていきます。

## 4 デジタル地域ポイント事業の基本的な考え方

(1) より多くの参加を促すため、市民の行動を「見える化」し参加意欲を高める  
活動への参加をポイント化し、行動の価値を認識・共有できる環境を整えます。

(2) 市の施策と連動し、政策効果を高める

子育て、健康や防災など、市の施策と連携したポイントメニューを設け、事業成果を定量的に把握します。

(3) 企業、団体との連携による循環を創出し、活力あるまちをつくる

企業、団体との連携により、ポイントの活用先を市内で循環させ、地域やコミュニティの活性化を図ります。